

第 44 回原状回復対策協議会について

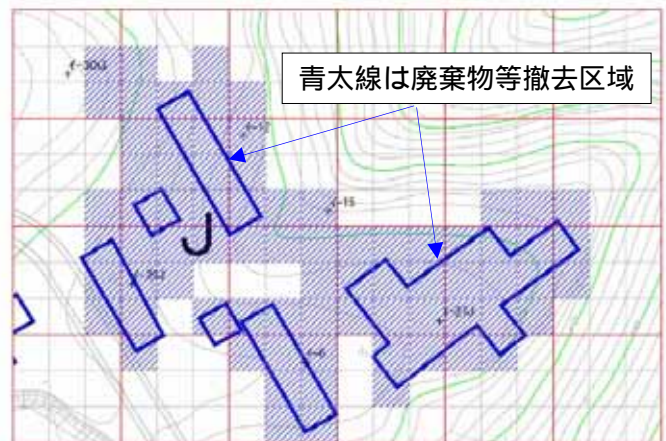
11 月 20 日に開催された第 44 回原状回復対策協議会内容についてお知らせします。

1. 廃棄物の撤去処分状況について

廃棄物の運搬・処分状況については、11 月末現在で 37,375 t（進捗率 77.9%）となっており、昨年と同程度（昨年同時期 37,235 t 77.6%）のペースで進んでいます。

また、廃棄物及び汚染土壌の掘削を終了した J 地区において、76 区画の掘削完了後の土壌汚染状況調査を実施した結果、環境基準値を超過した区画はありませんでした。

なお、今年度 D 地区から撤去したドラム缶の本数について 295 本と報告していましたが、つぶれて変形したものがあり確認したところ 299 本と確定しましたので訂正します。



■ 掘削完了確認箇所：分析の結果基準超過なし

図 1 J 地区掘削完了箇所

2. 汚染土壌対策について

N 地区での土壌浄化は、汚染濃度の高い県境部の 3 区画については、揚水ばっ気を継続していましたが、目標濃度まで汚染が低下したため、10 月中旬からバイオ浄化に移行しています。

また、環境基準をクリアした区画数は 54（汚染区画数 33）と、前回報告時（9 月）と同数ですが、汚染濃度は図 2 のとおり着実に低下しており、浄化開始時と比較すると汚染物質の 98.8% が分解・除去されたものと推定されます。

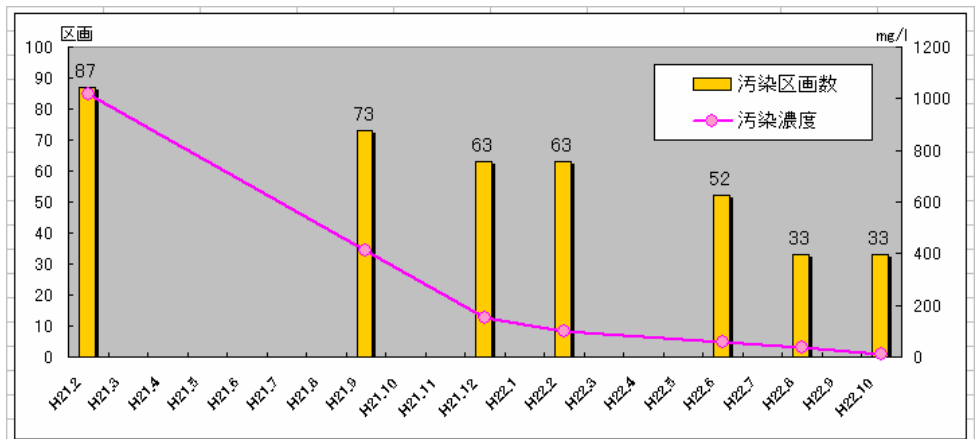


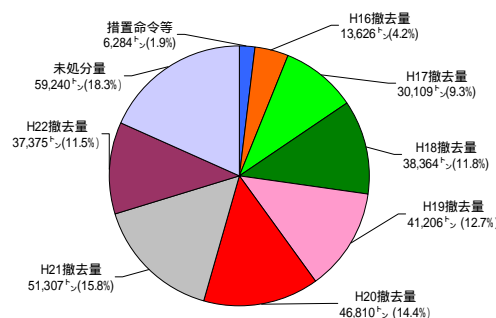
図 2 汚染区画数と汚染濃度の変化

廃棄物の撤去状況について（平成 22 年 11 月末現在）

表：22年度の月別撤去量

	撤去量(トン)
22年4～9月	25,715
22年10月	5,634
22年11月	6,026
合計	37,375

平成22年度撤去目標 48,000トン



11 月末までに、岩手県側の推定総量 324,320 トンのうち、265,081 トン（81.7%）を撤去しました。

撤去状況の数字は、小数点以下の端数処理をしているので、合計値が合わない場合があります。